



もっと知りたい♡霧島のおれこれ

# | 01 |

## 霧島九面太鼓



あまてらすおみかみ  
 二天照大神さまは、孫の瓊瓊杵尊に、三種の神器である八咫の鏡・八尺瓊勾玉・草薙剣を授け、豊葦原水穗国を高天原(※1)のようにすばらしい国にするため、天降るように命じました。(中略)瓊瓊杵命は猿田彦神を先導に、いくえにも重なった雲を押し分け押し分け、日向の高千穂の地に天降られました。(神社本庁ホームページ「天孫降臨」より)。

霧島神宮の奉納太鼓である霧島九面太鼓。霧島神宮の宝物とされる9つの面を着け、全身全霊で和太鼓を奏でるさまは圧巻です。表現しているのは、天孫降臨の神話をもとにした国の始まりの荘厳さと勇壮さ。元旦の霧島神宮での奉納や8月中旬の天孫降臨霧島祭では、その迫力の演奏を見ようと県内外から多くの人が訪れます。

※1 高天原：日本神話において多くの神々がすんでいたとされる国

もっと知りたい♡霧島のおれこれ

# | 02 |

## 霧島国際音楽祭



毎年7月中旬からの約20日間、霧島市のみやまコンセルを中心に鹿児島県内各地で開催される霧島国際音楽祭(霧音)。世界一流の音楽家たちによるコンサートや講習会が開かれ、多くの音楽家やクラシックファンで賑わいます。そんな霧音の名物の一つが期間中の序盤に開かれる野外ブッフエパーティ。地元のボランティアグループが、郷土料理など多彩な料理で参加者をもてなし交流を楽しみます。霧島の自然と食、人の魅力を楽しめるパーティは、参加者の楽しみにもなっています。また、受講生たちに自宅のピアノと練習の場を提供する「ピアノホームビジット」も特徴の一つ。音楽祭期間中はまちのあちこちにピアノの音色が響き、霧島が音楽に染まります。